

平成 27 年度 事業報告

当財団は、平成 27 年 8 月 10 日付で内閣府より公益財団法人としての認定を受け、新たなスタートを切りました。また、平成 27 年 10 月 1 日付にて NPO 法人木材・合板博物館より全事業、全財産を公益財団法人木材・合板博物館へ譲受けし事業活動を継続しております。

なお、計算書類につきましては、平成 27 年 8 月 10 日～平成 28 年 3 月 31 日の数値といたしますが、本事業報告は、事業が継続されておりますので、平成 27 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの NPO 法人の事業活動を含めた 1 年間の事業報告とさせていただきます。

◆ 平成 27 年度の来館者数 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

12,148 名 [大人 8,713 名 子供 3,435 名]

(前年度比－426 名 [大人－1,059 名 子供＋633 名])

1. 公益目的事業

(1) 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

① 大型建築物を建てるための新しい部材を集めて展示を行った。

a) 大断面集成材 b) CLT, Wood ALC c) 大臣認定耐火構造部材

② 巨樹写真展示 (撮影：プロカメラマン 吉田繁氏)

・十二本ヤス (日本一のヒバ)・・・青森県五所川原市金木町

・日本一の北金ヶ沢のイチョウ・・・青森県深浦町

③ 材鑑の収集

④ 木材加工工具の整備

⑤ 英語パンフレット整備

⑥ 公益財団法人化に伴い、ビル壁面バナー、ポスター、パンフレット制作

(2) 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

① 定期発行誌「木と合板」(年 4 回)

春号： ・森林飽和－国土の変貌を考える第 2 回

・新しい木質構造材 CLT が拓く未来図

夏号： ・森林飽和－国土の変貌を考える第 3 回

・竹中大工道具館で学ぶ

秋号： ・国登録有形文化財 村川家住宅を訪ねて

・国内材需要の活性化、低炭素社会の達成へブレイクスルーを目指す
Wood ALC への期待

冬号： ・構造設計ノウハウの共有化で、非住宅木造市場創造の可能性に挑む！

② 第7回「木と合板」写真コンテスト

応募期間：平成27年7月1日（水）～8月31日（月）

結果発表：平成27年10月31日（土） 表彰式：11月15日（日）

昨年に引き続き特別審査員としてプロカメラマン吉田繁氏に依頼、協賛を募った。

応募作品数 一般の部 134 作品、建材の部 84 作品、
フォト5・7・5の部 82 作品
応募総数 300 作品（前年度比 +78 作品）

協賛企業・団体 53 社 59 口（前年度比-4 社、-6 口）

③ クリスマスツリー植林祭

開催日：平成27年5月24日（日）

場 所：イコロの森（北海道苫小牧市）

参加者：133名（前年度比-73名）

④ 第3回「合板の日」記念式典（日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同事業）

- ・平成27年11月6日（金）に開催。合板業界に多大なる貢献をされた人物の表彰

林野庁長官賞受賞者：国立研究開発法人 森林総合研究所

参加人数：257名

ご来賓：林野庁長官 今井敏氏、

東京都労働産業労働局農林水産部長 寺崎久明氏

- ・講演会1「ネダノンの開発」

セイホク株式会社技師長、

国立研究開発法人 森林総合研究所フェロー 神谷文夫氏

- ・講演会2「国産材を活用した型枠用合板の開発」

国立研究開発法人 森林総合研究所 複合化研究室長 渋沢龍也氏

⑤ 団体見学の受け入れ（前年度比-23団体）

（教育機関）

- ・江東区内の小学校 25 校（全校の 63%）・江東区教育委員会小学校担当教諭
- ・武南中学校 ・一関市立大東中学校 ・横浜市立釜利谷中学校 2 年生
- ・千倉中学校（早川木材） ・松戸市立第二中学校 ・群馬県大泉町立南中学校
- ・千葉県立君津青葉高校 ・千葉県立市川工業高校インテリア科
- ・筑波大学附属視覚特別支援学校 ・さいたま桜高等学園
- ・東京大学生物材料科学専攻 ・立教大学スタディツアー ・日本大学生産工学部
- ・日本大学生物資源科学部森林資源科学科 ・駒沢女子大学住空間デザイン学科

- ・東京農業大学森林総合科学科／造林学研究室 ・女子美術大学デザイン工芸学科
- ・東京都市大学 ・東京テクニカルカレッジ ・東京デザイナー学院
- ・中央工学校建築系 ・日本工学院専門学校

(その他団体等)

- ・森山農林水産大臣、林野庁長官御一行 ・農林水産省 大臣官房国際部
- ・東京都庁森林課 ・福島県木青連 ・オイスカ ・島根県庁職員
- ・日本建築学会関東支部 ・江東区消費者団体連合会 ・北海道立総合研究機構
「林産試験場」 ・学童クラブ ・福祉施設 ・森林組合 ・協同組合
- ・設計事務所や職業訓練校 ・ウォーキングサークル等多数来館

⑥ ワークショップ

- ・いつでも工作体験の実施
→木の動物作り、木のしおり作り、木のプレート作り、ウッドバーニング体験、キーホルダー作り
- ・夏休み木工教室の開催 (合計 94名参加)
「ジグソーパズルをつくろう！」[7/18 (土)、7/25 (土)]
「ビー玉ころりをつくろう！」[8/1 (土)、8/8 (土)]
「コリントゲームをつくろう！」[8/23 (日)、8/29 (土)]
- ・夏休み合板・LVL工場見学ツアー開催 (23名参加)
7月24日(金) 株式会社キーテック 木更津工場見学、端材を使った工作体験

⑦ RC/S 造建築物における内装の木質化推進 (防耐火規制をヒモ解く)

- ・平成27年12月10日(木) エコプロダクツ2015において「内装木質化ハンドブック」が第1回ウッドデザイン賞2015 林野庁長官賞受賞 (優秀賞)

⑧ 博物館の広報・PR活動

- ・SNSによる情報発信
→各種イベント、合板の日記念式典、森山農林水産大臣・今井林野庁長官来館、ウッドデザイン賞2015 林野庁長官賞受賞 他
- ・取材要請対応
→モノ・マガジン「男の大工DIY」、朝日新聞 [阪神版]、日本テレビ、BSTBS
- ・広告掲載
→駅ナビタ (新木場駅周辺案内図)、日刊木材新聞 (合板の日)
- ・展示会への出展
→みどりとふれあうフェスティバル、エコライフ・フェア2015、えこつくる江東春まつり、木と暮しのふれあい展、JKフェア、エコプロダクツ2015 等

- ・林野庁7階中央展示室において、ポスター等PR展示（平成27年8月）
- ・その他
→博物館ゆるキャラ「Go-kun」 ゆるキャラグランプリ2015出場

2. 収益事業

① ウッドマスター講習会

- ・基礎講座 期間：平成27年4月14日（火）～18日（土）
受講人数：一般72名 ジャパン建材50名 合計122名(前年度比+7名)
【講習】地球温暖化防止と森林の果たす役割、樹木と木材の性質、木材需給と貿易に関する基礎知識、木材材料の基礎知識、これからの木造建築、林業の豆知識、木材の利用と材質 他
【実習】工場見学（合板・LVL、プレカット）、林地見学、木材による樹種識別実習
- ・中級講座 期間：平成28年1月30日（土）～31日（日）
「樹種識別を学んでみよう」 受講人数：7名（前年度比－3名）
【講習】針葉樹の組織、木材の材質1・2、広葉樹の組織、樹種の材質特性
【実習】針葉樹材の樹脂道と樹脂細胞、針葉樹材仮道管のらせん肥厚、針葉樹材の分野壁孔と放射仮道管、広葉樹材道管と柔組織の配列、広葉樹材道管のせん孔とらせん肥厚、広葉樹材の放射組織、樹種識別の実際（17種）

② クリスマスツリー苗木販売

販売期間：平成27年10月1日（木）～12月2日（金）
出荷数：215鉢 [道内93鉢]（前年度比－14鉢 [道内+2鉢]）
協賛企業：55社（前年度比+3社）

③ ショップ販売

- ・「内装木質化ハンドブック」の販売
価格：2,000円+税
販売方法：Net（コンフィル）販売、及びミュージアムショップにて販売
販売総数：305冊（658,800円（税込））

・新商品の仕入・販売

今年度新商品：パズル（ライオン、ドラゴン、ちょうちょ、フクロウ、戦闘機、汽車、キッチンセット、ベッド&チェスト）、木の賞状、木の名刺

収入：583,472 円（前年度比 +223,582 円）

・自動販売機による飲料の販売、コピー機利用による収入

収入：25,662 円（前年度比 +5,236 円）

以上